



るちざんすいしやうじ
涙池山瑞松寺 (大阪市東淀川区小松3丁目12番20号)

浄土真宗本願寺派のお寺で、開基は楠一族の楠治郎左衛門尉正澄で本願寺で顕如の弟子となり、名を明道と改め、天正9年(1581)に創建されました。

山号の涙池山は源氏との合戦に敗れた平景清がかくまってもらっている伯父の大日坊をあやまって殺した白刃を涙ながらに洗った池(現在の小松公園)が近くにあった事から由来しています。

現存の本堂は宝暦9年(1759)に再建されたもので、鐘楼は寛政4年(1792)のものだそうです。

皆さんも、絵本を読まれたあと、お子さんと一緒に付近を散策してみたいかがでしょうか。

《瑞松寺の吸出しぐすり》について

昭和初期の袋に書かれた効能書きには

《腫物一切の良薬、一子相伝 無類膏 たぬきぐすり

よく膿を 早く吸出し悪毒を除き 三、四日の中に 痛みを止める

一日三度 川魚 油こきもの 酢 もち類 食べぬこと》

などとするされており、

当時の 価格は 一袋 金二十銭だったそうです。

現在は「薬事法」のためつくっていませんが、

今も秘伝の作り方は残っているそうです。

